

高速⁺₋定電圧可変型2電源 AVR-356S

●取扱説明書

■特長

ユニエル電子の高速定電圧2電源AVR-356S-A、B、C、Dの4種類は特にオーディオ用として設計、開発されたもので、高速応答性はもとより、温度特性や負荷安定度にもすぐれ、出力リップルも500 μ Vと極少です。音の高域特性、過度特性にも良く微弱な信号系を扱う、ヘッドAmP、イコライザー、フラットAmP、トーンコントロール等には申し分のない性能です。

■規格

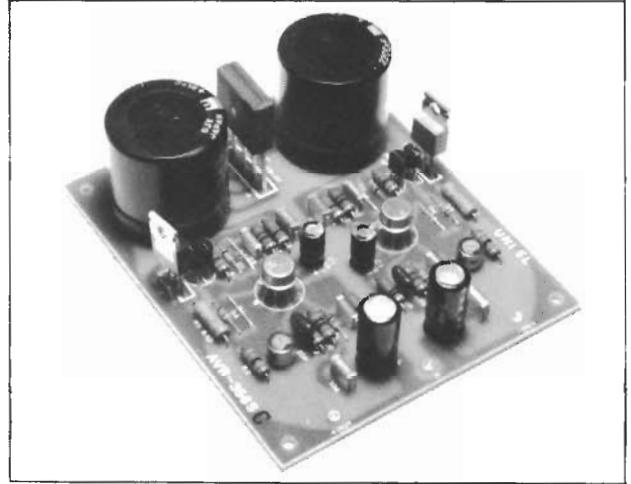
入力電圧……………AC11V~50V(AVR-356S-A~D)
 ……………AVR-356SA AC・10V~18V
 ……………AVR-356SB AC・25V~30V
 ……………AVR-356SC AC・35V~42V
 ……………AVR-356SD AC・42V~50V

出力電圧……………DC \pm 10V~ \pm 65V(AVR-356S A~D)
 ……………AVR-356SA DC・ \pm 10V~ \pm 20V(可変)
 ……………AVR-356SB DC・ \pm 20V~ \pm 35V(可変)
 ……………AVR-356SC DC・ \pm 35V~ \pm 50V(可変)
 ……………AVR-356SD DC・ \pm 50V~ \pm 65V(可変)

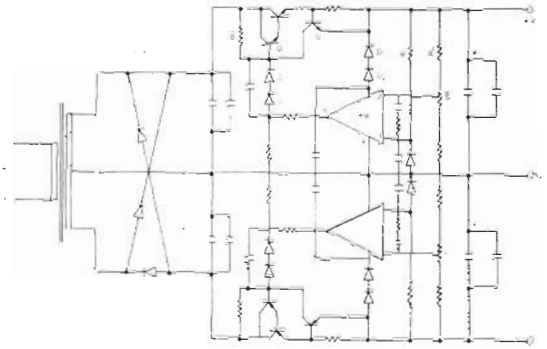
出力電圧誤差……………AVR-356S A~D' \pm 10%
 出力電流……………0.1A
 出力リップル……………500 μ V RMS以下
 (出力50mA DC入力電圧=出力電圧+5V)
 負荷安定度……………0.01% 出力電流50mA
 入力安定度……………0.01%/V
 温度安定度……………0.05%/ $^{\circ}$ C
 出力電流誤差……………100mA \pm 20%
 最小入出力電圧差……………5.0V
 基板寸法……………105 \times 90 \times 35H $^{\circ}$ m

■注意

- ①規格にありますAC入力電圧は
 ・入力電圧=出力電圧+5Vを基準にした値です。
 AC入力電圧を定めるには
 (設定DC出力電圧+5V) \div 1.4=AC入力電圧
- (例)出力電圧を、たとえば、15Vに設定したい場合の算出方法は、(15V+5) \div 1.4=14.28 \approx AC14VまたはAC15Vです。
- ②入出力電圧差を5V以上取る場合は充分な放熱が必要です。
- ③保護回路が動作状態に成った時は瞬時に短絡状態を解除して下さい。
 (出力端子のショートや過負荷は絶対にさけて下さい。)
- ④AVR-356Sの後に続くA・B・C・Dの附号によって最大入力電圧が限定されています。
 A=AC24V, B=AC35V, C=AC44V, D=AC56Vですのでこれを絶対に越えない範囲でお使い下さい。
- ⑤配線は出来るだけ太い線を使い最短距離に成る様、心がけて下さい。
 (配線の状態によっては、ハムが出たり、発振致しますので細心の注意をして下さい。)

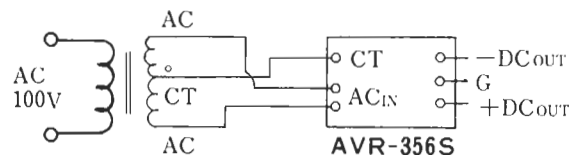


■回路図



■接続方法

電源トランスの選定は出力電圧により異なりますので規格及び注意の項を良くお読みのうえ近似値をご採用下さい。



*回路及び部品定数は改良その他の理由により変更する場合があります。

(有)ユニエル電子

〒101 東京都千代田区外神田3-3-4
 千代特ビル5F

☎03-3253-8086